

◆団体基本情報

No.	3	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人せんだい男女共同参画財団		
所在地	〒980-6128 仙台市青葉区中央一丁目3番1号						
電話番号	022-212-1627		FAX番号	022-212-1628		所管部局	市民局
団体ホームページ	https://www.sendai-ljp/						
代表者職氏名	理事長 水野 紀子			設立年月日	平成13年4月1日		
資本金・基本財産	200,404	千円	市の出捐額(割合)	200,000	千円	(99.8%)	
設立目的	仙台における女性の自立及び社会参画を促進する事業並びに男女平等を阻害する様々な問題の解決をめざした市民の主体的な活動の援助育成を行うとともに、男女平等の社会的風土づくりを進め、もって「男女平等のまち・仙台」の早期実現に寄与する。						
事業概要	<自主事業>調査研究事業、男女共同参画に関する普及啓発・情報提供事業、女性のエンパワーメントのための相談・学習事業、市民活動支援 <受託事業>仙台市母子家庭相談支援センター事業、女性の活躍推進事業、性暴力被害者支援事業、「仙台市職員のハラスメントの防止等に関する要綱等に基づく外部相談窓口業務」、「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」実証事業 <指定管理事業>エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台の管理運営、男女共同参画推進事業						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	1 人	1 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	63.0 歳	63.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	4,117 千円	4,136 千円	4,859 千円
④職員数	46 人	46 人	44 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	0 人
⑤職員平均年齢	44.8 歳	44.9 歳	45.0 歳
⑥職員平均年間給与	4,208 千円	4,264 千円	4,491 千円

◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	△ 1,341 千円	522 千円	△ 1,139 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	5 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 1,341 千円	522 千円	△ 1,134 千円
④一般正味財産期末残高	△ 8,383 千円	△ 7,861 千円	△ 8,995 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,316 千円	200,360 千円	200,404 千円
⑥正味財産期末残高	191,934 千円	192,499 千円	191,409 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	44,210 千円	40,144 千円	43,620 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	413,906 千円	425,920 千円	430,369 千円
③市に対する収入依存度	97.13 %	96.87 %	97.49 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
エル・パーク仙台 管理運営	エル・パーク仙台の管理運営について、施設の特徴と機能を生かした運営と、市民利用施設としての適切な管理を行う。さらに男女共同参画に取り組む市民グループの活動を支援するため、スペースの提供、機器の貸出等を行うとともに、情報提供や意見交換等を通じグループ間の交流促進を図る。	192,093 千円
エル・ソーラ仙台 管理運営	エル・ソーラ仙台の管理運営について、施設の特徴と機能を生かした運営と、市民利用施設としての適切な管理を行う。また、男女共同参画に関する図書・AV資料、行政資料等を収集し、市民の利用に供するほか、男女共同参画に関する各種相談に対応し、自立に向けた支援につなげる。さらに男女共同参画に取り組む市民グループの活動を支援するため、スペースの提供、機器の貸出等を行うとともに、情報提供を行う。	200,249 千円
男女共同参画推進講座	男女共同参画に関する普及啓発、女性のエンパワーメントのための学習支援等の事業を行う。	313 千円
女性相談	専門家による法律相談等を含め、幅広く女性の生き方に関する問題の相談に対応し、困難な状況にある女性を支援する。	2,964 千円
配偶者暴力相談支援センター	女性への暴力相談電話の他、保護命令制度の利用支援、心理カウンセリング等を行う。	(上記女性相談に含む) 千円
仙台市母子家庭相談支援センター	母子家庭の母、寡婦等を対象に相談対応やセミナーを実施し、自立に向けた支援を行う。	22,672 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	少子高齢社会の一層の進展、人口減少社会の到来や震災、コロナ禍を背景に顕在化した課題により、女性活躍の推進や、働く場や地域などあらゆる場で男女共同参画の視点を根づかせていく必要性が高まっている。また、「男女共同参画せんだいプラン」に基づき、誰もがあらゆる場で生き生きと活躍できる社会を実現するため、当財団では、女性の自己決定と行動の支援や、生きづらさや貧困、暴力被害等の困難な課題に取り組む事業を積極的に推進し、男女共同参画の必要性を広く定着させることに努めている。	宮城県内における唯一の男女共同参画の専管財団として、地域防災における男女共同参画の推進や働く女性のネットワーク形成支援など、常に課題発掘に努めながら社会のニーズに対応した事業に積極的に取り組んでいる。令和2年度は、女性の活躍を推進するコンテンツとして女性役員候補育成プログラムを新設した。今後とも、社会の変化を的確に捉えながら、多様な主体との連携を強化し、団体の設置目的の普及啓発に資する施設利用者の拡大やより満足度の高い事業展開の工夫を図りながら、男女平等のまちなの実現に資する事業を展開していくことを期待したい。
2. 業務・組織管理	当財団の使命を果たすため必要な組織体制の充実を図りつつ、効率的・効果的な業務運営に努めている。財団の経営基本方針及び中期方針の下、専門性の維持・向上のため研修など職員的能力開発に努め、地域の諸機関・団体とも連携し、組織力の強化に取り組んでいる。	平成13年4月の財団設立以降、男女共同参画に関する専門的知見やノウハウの集積、人材育成に積極的に取り組んでいるほか、業務によってはプロジェクト制なども導入し、効果的な業務運営に努めている。今後も経営基本方針に掲げた理念の実現に向けて、若手職員の能力開発や管理職の育成などに長期的な視点で取り組んでいただくとともに、市民団体、関係機関との連携を基調とした業務運営を行っていただきたい。
3. 財務状況	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、自主財源である出前講座の講師謝礼、飲料水自販機設置料収入が減少したが、概ね安定している。講座・イベントや講師派遣、刊行物の発行、寄附制度等、自主財源の確保にも取り組んでおり、また、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランス推進、女性の貧困に関する事業等については負担金や受託料を獲得し実施している。今後とも安定した財務運営に努める。	財務状況は、概ね安定している。引き続き、安定的な財務運営を行っていくため、コスト意識を高く持ちながら業務に取り組んでいただき、また、新型コロナウイルス感染症の情勢を見極めつつ自主事業の拡大等による財源確保の努力も継続していただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	経営基本方針及び中期方針（平成29年度～令和3年度）に基づき、以下の通り取り組む。 地域や働く場における意思決定の場への女性の参画促進の取り組みを強化・加速させること、震災の経験を未来に継承すること、生きづらさや深刻化する貧困といった女性の困難の構造をより明確にすること等に取り組むため、これまで積み上げてきた実績の基盤に加え、男女共同参画推進センターを活用したさらなる情報発信力の強化及び様々な社会資源との連携を拡充することにより、女性のエンパワーメントを継続して図っていく。さらに、男女共同参画推進センターが、男女共同参画促進のための先見的なテーマをいち早く捉え、市民と協働して取り組む拠点としてあり続けるために、職員の専門性の向上・組織力の強化に努める。	今後とも、地域・市民・企業等との連携を深めながら、中期方針に基づき、具体的な取り組みを進めていただきたい。 また、調査研究や相談事業等を通じて捉えた現状や課題を企画に反映させるなど時機を得た事業展開を図り、男女共同参画せんだいプランの推進主体の一員としてその役割を果たしていくことが望まれる。